

輝城会広報誌

第17号

2025年2月

○新年のご挨拶

輝城会グループ

西松 輝高

○予防検診について

中之条町エコノミークラス症候群

(脳梗塞および静脈血栓塞栓症)予防検診

○機器紹介

Canon社製マンモグラフィシステム

Pe·ru·ru DIGITALを導入しました

○住民公開講座

吾妻脳神経外科循環器科・認知症疾患医療センター

住民公開講座のご報告

たくみの里 (わらアート)
撮影日：2024年12月21日

新年のご挨拶

輝城会グループ代表 西松 輝高



明けましておめでとうござい
ます。

昨年は、元旦から多くの犠牲者を出した能登半島地震が発生し、翌二日にはその被災地に支援物資を運ぶ海上保安庁の輸送機と日本航空の旅客機が衝突する事故が起こるなど、多くの方が新年の寿ぎを自粛した年明けでした。能登半島は九月にも豪雨災害に見舞われ、災害の二重苦に今なお、多くの方が過酷な生活を強いられていることに胸が痛みます。

今年も多くの方が穏やかな新年を迎えられたことと拝察するとともに、昨年中は輝城会グループの事業にご理解とご協力をたまわり心より御礼申し上げます。

【輝城会グループのこれまで】

二〇二四年十一月八日に厚生労働省が公表した同年八月分の病院報告では、一日平均患者数をコア

ナ禍前の二〇一九年八月と比較すると、入院が七・八%減、入院外

(外来)では九・六%減となり、患者さんの数はいまだにコロナ禍前の状態には戻っていないことがわかりました。しかしながら、広く知られているとおり、今年二〇二五年から二〇四〇年、さらに二〇五〇年にかけて一部の都市圏を除いて人口は急激に減少します。

つまり患者さんの受療行動はコロナ禍以前に戻ることはなく、医療需要の変化は医療機関を受診する患者さんの数を確実に減少させる傾向にあります。それは今までと同じやり方を続ける医療機関を間違いなく倒産に追い込むことを意味します。よって輝城会グループでは早くから変化に強い組織体質を造り上げてきました。四〇年以上前に開業した当初から私は急性期医療と在宅生活は一体の関係にあると考え、救急医療を担当する

沼田脳神経外科循環器科病院では退院後の在宅での生活や在宅での療養を念頭に、PT、OT、ST

などリハビリの職員を手厚く配置し、術後の早期からリハビリ介入することで退院後の早期社会復帰に少しでも貢献することを目指しました。また、二〇〇〇年の介護保険法施行と同時に始めた介護保険事業でも、利根沼田及び吾妻を含む群馬県北部地域におけるネットワークを構築し、訪問看護ステーションや訪問介護、通所介護や通所リハビリなどの事業所を矢継ぎ早に立ち上げてきました。今日

ではこれら介護施設と沼田脳神経外科循環器科病院を中核とする医療機関との緊密な連携によって、患者さん、利用者さん一人一人の病歴から生活環境に至るきめ細かいデータを共有し、全人的なケアと手厚い介護を安価で迅速に提供できる体制を築きました。中でも

医療体制の中核となる沼田脳神経外科循環器科病院では、二十四時間三百六十五日、救急患者さんを断らない体制を維持し、救急車の応需率で県内トップとなるなど北

毛地域における脳と心臓の救急専門病院として磐石の体制を築きました。二〇二三年には北毛地域で唯一の一次脳卒中センター(複数の専門医が常駐し二十四時間三百六十五日緊急手術や検査等に対応)として、群馬大学附属病院との連携により沼田保健医療圏における

医療完結(当該医療圏内で治療を完結させること)に貢献しています。さらに外来医療においては、利根沼田地域は沼田クリニックに三十以上の診療科を設置し、最先端の1.5テスラ(磁場の強さを表す単位)MRIや、より精密な断面画像を得られるマルチスライスCTなどの高度医療機器を備え、地域のゲートキーパー役を負うに

ふさわしい高機能診療所に造り上げました。

一方吾妻地域では吾妻脳神経外科循環器科に同じく1・5テスラMRIや64列マルチスライスのCTを備え、頭と心臓の医療資源が少ないこの地域で、沼田脳神経外科循環器科病院との連携により救急患者さんの救命救急に大きな役割を果たす体制を築きました。

その吾妻脳神経外科循環器科では二〇一六年に群馬県で唯一診療所併設型の認知症疾患医療センターを開設し、地域の認知症患者さんとそのご家族からの相談応需や認知症患者さんの社会参加に向けた啓発活動などを展開しています。

その一環の住民公開講座はコロナ禍のためオンデマンド形式となった回も含め、吾妻郡内すべての町村を対象に、開設以来一年も欠かさずこれまで九回開催してきました。

一方国内でも数少ない画像診断専門クリニックとして、一九九四年以来稼働する城西クリニックでは、群馬大学の正面相向かいにある私立短期大学の建物を所得し、3テスラMRIなどの高度画像診断装置と優秀な読影医による正確で迅速な検査結果のフィードバックによって、前橋市内の開業医の

先生方や群馬大学医学部附属病院から厚い信頼を寄せられています。

【二〇二五年からの】

新たな戦略について

前述のとおり今後は医療（介護）施設でも、いち早く変化に対応できなければ淘汰されていく時代です。輝城会グループでも、これからは『選択と集中』によって、今まで以上に地域のニーズに柔軟に対応できる、質の高い医療、介護に絞り込んだ事業展開を目指します。そしてそこには四十年以上前の開業当初からの理念である「良質な医療（介護）を迅速に安価で提供する」ことを中心に据え、脳と心臓の疾患に関しては沼田医療圏での医療完結に貢献することを前提としますが、時代のニーズも的確にとらえ、在宅医療、予防医療など超高齢社会に求められる医療需要にも柔軟に対応します。その一環として、輝城会グループには看護師やリハビリセラピストなど十八名の「心不全療養指導士」及び十九名の「脳卒中療養相談士」が在籍しています。それぞれ入院中から退院後の療養生活を親身になってサポートするとともに、患者さんの社会復帰に向けて寄り添う役割を担っています。また、医

師の体制においても、昨年群馬大学に赴任された大宅宗一脳神経外科教授のはからいにより、この四月より栗原健吾先生が手術の修煉のため沼田脳外の常勤医師として勤務されることになっています。

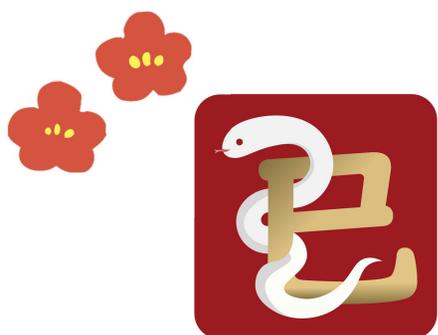
さらにこのほど沼田脳外には最新鋭のMRIが導入されますが、特に心臓の描出はAIによる高い画質が得られるとともに、検査時間が短く何より患者さんにやさしい検査が可能となります。

介護事業部門では、二〇二四年末をもってかがやき訪問看護ステーション渋川サテライトを廃止するとともに吾妻事業所をなかんじよ在宅ケアセンター内に移転し、事業の合理化を図ることとしました。また個々のサービスの提供体制も見直し、なかんじよ在宅ケアセンターの地域密着型通所介護の事業をみんなの家なかんじよに移管し、みんなの家なかんじよでは認知症対応型通所介護の事業を休止します。さらに二〇二五年度には吾妻地域における新規事業として、なかんじよ在宅ケアセンター二階フロアの短期入所生活介護を廃止した上、そのフロアに看護小規模多機能型居宅介護事業を展開します。これにより万人の願いである『住み慣れた地域や自宅での

生活を継続する』可能性を、吾妻地域においても広げることができると考えています。

このように介護事業部門では今後、事業の合理化と集約による『選択と集中』を推し進め、地域のニーズにしっかり応えつつ、これまで輝城会が培ってきたノウハウをさらに深化させた介護サービスの提供を目指します。

このように逆境にあっても輝城会グループでは職員のチャレンジを何よりも大切にし、地域の患者さん、利用者さんの健やかで満ち足りた生活の手助けとなるよう職員一同精進してまいりますので、今年も変わらぬご指導、ご愛顧をたまわりますようお願い申し上げます。新年のご挨拶といたします。



中之条町エコノミークラス症候群

(脳梗塞および静脈血栓塞栓症) 予防検診

令和六年九月十五日(日)に榛沢先生の提案にてエコノミークラス症候群(脳梗塞および静脈血栓塞栓症)予防検診を開催しました。平成三十年十月に沼田市の防災講座に合わせて予防検診を実施した以来、二回目の開催になりました。

今回は吾妻地区中之条町を対象に中之条町役場の共催を得て、会場を中之条町保健センター、開催時間を十時〜十



二時、十三時〜十五時の四時間で事前予約制にて行いました。当初は百六十名程度での実施を検討していましたが、実際に予約受付を開始すると約二時間程で百六十名に達するとの連絡を保健センターから受け、急遽二百名まで増やすことになりました。実施した項目は下記(図1)の項目を行い、今回から新たに頸動脈エコーを追加することで、より詳細な検診を提供しました。

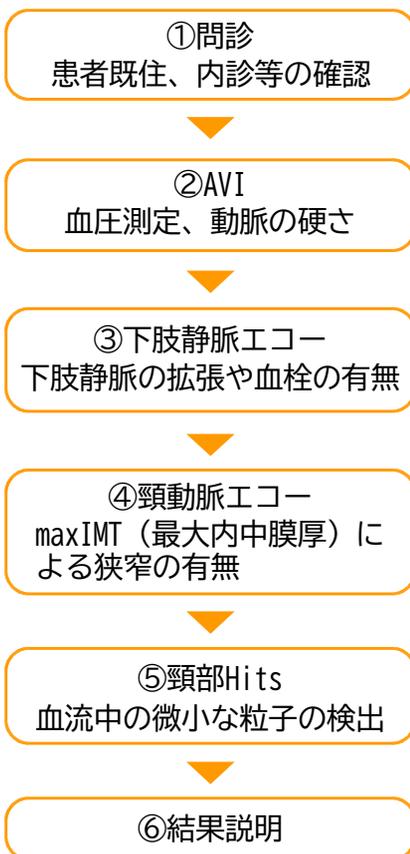
また、この検診の開催に伴い、各施設の職員に協力して頂きました。沼田脳神経外科循環器科病院からは臨床検査課二名、臨床工学課二名、健康管理室二名、沼田クリニックからは検査課二名、吾妻脳神経外科循環器科からは看護

課二名、輝城会グループ広報から二名、新潟大学から榛沢先生、検査技師一名、そして中之条町保健センターの職員三名の計十七名での実施となりました。

当日は、十時開催予定でしたが、早くからお集まり頂いた方もいたので開始時間を早めて九時三十分としました。それでも申込者を二百名まで増やしたことや異常所見を認

める方が比較的多かった影響もあり、予定より時間が遅くなる状況となり、参加していただいた方には大変ご迷惑をお掛けしました。

今回の検診を受けられた方は百九十七名で、その中で異常所見が合った方が五十八名であり、そのほとんどの方が医療機関への紹介となりました。紹介先は吾妻脳神経外科循環器科、原町赤十字病院、



(図1) エコノミークラス症候群 予防検診実施項目

下肢静脈瘤	15件
DVT（深部静脈血栓症）	13件
不整脈	11件
頸動脈プラーク 2.5mm以上	10件
未治療高血圧	6件
甲状腺腫瘍	5件
AVI（動脈の硬さ）高値	3件
狭心症疑い	2件
下肢閉塞性動脈硬化症	1件
頸動脈微小血栓	1件

（図2）エコノミークラス症候群検診結果
（※異常所見を併存している方もいます）



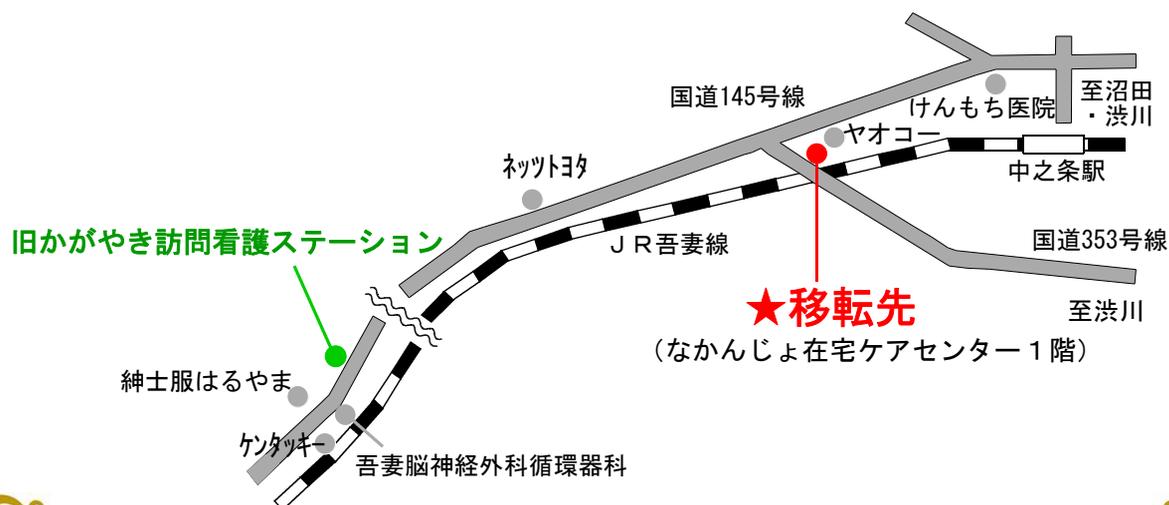
沼田クリニックの三施設で吾妻脳神経外科循環器科への紹介が大多数を占めていました。異常所見の詳細は左（図2）をご覧ください。

DVTの検出率は約六・五%で榛沢先生曰く平均的であるとのことでしたが、今回新たに実施した頸動脈エコーにより、甲状腺や頸動脈の異常所見を見つけたことができたのは、大変良かったのではないかと仰っていました。今後は利根沼田地域での開催を検討していく所存です。

文責 沼田脳神経外科循環器科病院
臨床検査課 青木 伸行

かがやき訪問看護ステーション移転のお知らせ

令和7年2月より下記の住所へ移転することとなりましたので、ご案内申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。



Cannon社製マンモグラフィシステム Pen·ru·ruDIGITALを導入しました

沼田脳神経外科循環器科病院では令和六年八月より、新しいマンモグラフィ装置を導入いたしました。

この装置は最新の検出器を搭載しており、高精細な画像が得られるため、小さな病変を発見しやすくなり、より精密な診断が可能となりました。さらに、撮影時に身体が当たる装置部分は、従来よりも丸みを帯びた形状にデザインされており、乳房を圧迫する板がわずかにしなることで痛みを少なくする工夫がされて



います。また、撮影に必要なX線量も大幅に低減することができ、受診される方の身体的・心的な不安の軽減が期待されます。

近年、日本人女性の部位別がん罹患数は「乳がん」が最も多く、毎年九万人以上の方が新たに乳がんと診断されており、日本人女性が生涯で乳がんにも罹患する確率は九人に一人とも報告されています。また、乳がんの発生は二十歳頃から認められ、三十歳を超えると急激に増加し、五十歳前後にピークがあると言われています。

さらに、三十〜六十四歳の世代では乳がんは女性のがんによる死亡数で第一位となっているのが現状です。このような背景から、乳がんの早期発見のためにはマンモグラフィ

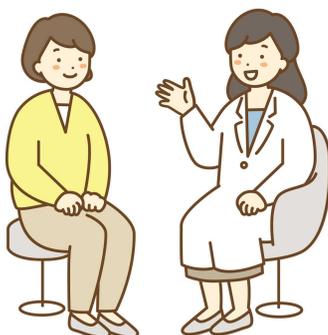
イ検診が推奨されていますが、精度の高い検査を行うためには、撮影に使用する装置の精度管理が適切に行われていることが必須であり、撮影する技師にも高い撮影技術が求められます。

沼田脳神経外科循環器科病院では以前より、「NPO法人日本乳がん検診精度管理中央機構」の認定する「マンモグラフィ検診施設画像認定施設」を取得していましたが、新しい装置でも施設認定の取得を目指しています。撮影を担当する技師も「検診マンモグラフィ撮影認定技師」の認定資格を取得しているため、これらを維持していくことが高いレベルで医療を提供することに繋がると考えています。受診される方が安心できるように、新しい装置でも研鑽に務

める所存です。

マンモグラフィ撮影は女性技師が対応しておりますので、安心して検査をお受けください。

文責 沼田脳神経外科循環器科病院
診療放射線課 西形 弓恵



吾妻脳神経外科循環器科・認知症疾患医療センター 住民公開講座の「ご報告」

令和六年十二月一日（日）、
 嬭恋村役場にて群馬県認知症
 疾患医療センターの指定後、
 第九回目となる住民公開講座
 「認知症に寄り添い、住み慣
 れた地域で暮らす」を開催し
 ました。初の試みである嬭恋
 村での開催であり、当院から
 は遠隔地ということもあつて
 参加者はごく少数となつてし
 まうことを懸念しておりまし
 た。蓋を開けてみれば多くの



地域住民の方々にご参加いた
 だき、ホッとしました次第です。
 プログラムについては、は
 じめに私より『認知症疾患医
 療センター活動報告』と題し、
 吾妻脳神経外科循環器科及び
 認知症疾患医療センターの概
 要や事業内容、活動実績など
 についてご報告いたしました。
 続いて、当院の理学療法士三
 名による『認知症予防体操』
 を行いました。国立長寿医療
 研究センターが開発した運動
 と認知課題（計算、しりとり
 など）を組み合わせた「コグ
 ニサイズ」を中心に体操のレ
 クチャーを行いました。会場
 参加型であつた事もあり、皆
 様にも熱心にお付き合いた
 だき、会場全体に一体感が生
 まれ、非常に盛り上がりまし
 ました。最後に、当院認知症疾患
 医療センターのセンター長で
 ある久保田院長が『認知症に

向き合う』と題し、講演を行
 いました。加齢に伴うもの忘
 れと認知症の違い、認知症の
 症状や予防方法などについて
 分かりやすく説明しました。
 参加者の方々が講演に聴き入
 っている様子や熱心にメモを
 取られている光景が見受けら
 れ、また、講演終了後の質疑
 応答のコーナーでも会場から
 活発に質問が飛び交い、認知
 症に対する関心が地域で高ま
 っているのを感じました。
 また、アンケート結果では、
 ご満足いただいた旨の回答が
 多く「良い勉強になった」、
 「今まで何となく常識だと思
 っていたことが違っていて、
 新しい発見がありました。他
 の人にも聞いてほしいと思つ
 たのでまたこの講座をお願い
 します」や「誰にでも分かる
 やさしい話し方で良かった」
 など、多くのお褒めの言葉を

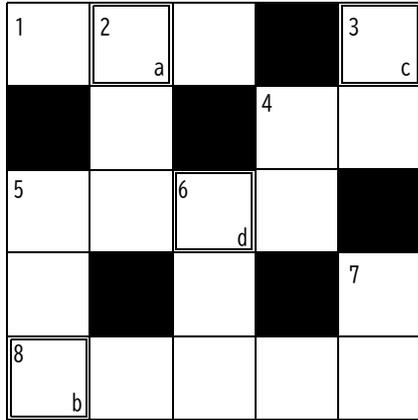


文責 吾妻脳神経外科循環器科
 竹之内 優

頂戴しました。今後も定期的
 に開催するとともに、アンケ
 ート結果を踏まえ、ご希望の
 多い認知症患者への対応方法
 や福祉サービスなどについて
 も皆様に情報提供していき
 たいと考えています。
 結びに、会の運営に当たり、
 ご協力いただいた皆様、誠に
 ありがとうございます。この
 場を借りて感謝申し上げます。
 今後とも宜しくお願いいた
 します。

クロスワードパズル

タテ、ヨコのカギをヒントに解きます。
二重線で囲まれた a～d 文字を並べ変えてできる言葉が答えです。



答え

a	b	c	d
---	---	---	---

提供元：クロスワード.jp 改

タテのカギ

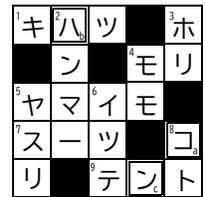
- 2 電流・電波の周波数、音波の振動数などを表す、振動数の単位。
- 3 アメリカ・カナダなどのお金の単位。
- 4 数の名。みつつ。
- 5 タカ目タカ科の鳥。
- 6 霜がおりる寒い夜。
- 7 日本固有の形式による詩。長歌・短歌・旋頭歌などの総称。

ヨコのカギ

- 1 変わった出来事。非常の事態。
- 4 霊長目のうち、ヒト科を除いた哺乳類の総称。
- 5 目標に向かってまっしぐらに突き進むこと。
- 8 贅沢で美味しいものばかり食べる人。

前回の
クロスワードパズル

答え コハン



輝城会グループ

医療施設

沼田脳神経外科循環器科病院
〒378-0014 沼田市栄町8
TEL 0278-22-5052
(ドック直通)0120-40-2288

沼田クリニック
〒378-0014 沼田市栄町61-3
TEL 0278-22-1188

沼田クリニック 歯科
〒378-0014 沼田市栄町61-3
TEL 0278-30-3003

吾妻脳神経外科循環器科
〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町760-1
TEL 0279-68-5211

城西クリニック
〒371-0033 前橋市国領町二丁目13-23
TEL 027-234-7321

特別養護老人ホーム菜の花館
〒379-1203 利根郡昭和村大字糸井1757-311
TEL 0278-30-3331

菜の花館園原
〒378-0324 沼田市利根町園原870
TEL 0278-56-9200

介護施設

訪問看護ステーションまつかぜ
〒379-1203 利根郡昭和村大字糸井1223
TEL 0278-22-6153
(居宅直通)0278-25-4401

ホームケアまつかぜ
〒379-1203 利根郡昭和村大字糸井1223
TEL 0278-20-1185

ぬまとね総合在宅ケアセンター
〒378-0015 沼田市戸鹿野町238-1
TEL 0278-23-2526

グループホーム沼田公園前
〒378-0042 沼田市西倉内町658
TEL 0278-30-2201

輝城会重度介護支援センター
〒378-0053 沼田市東原新町1442-7
TEL 0278-22-1040

かがやき訪問看護ステーション前橋
〒371-0034 前橋市昭和町三丁目6-15
TEL 027-288-0573

みんなんち園原
〒378-0324 沼田市利根町園原871
TEL 0278-56-9210

菜の花館本町通り
〒378-0047 沼田市上之町1149
TEL 0278-22-5551

あがつま在宅ケアセンター
〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町705-1
TEL 0279-68-5488
(訪問介護直通)0279-25-8131

かがやき在宅ケアセンター
〒377-0801 吾妻郡東吾妻町大字原町705-1
TEL 0279-26-2680

みんなの家なかんじょ
〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町967
TEL 0279-75-4165

なかんじょ在宅ケアセンター
〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町1869-5
TEL 0279-75-2800

かがやき訪問看護ステーション
〒377-0424 吾妻郡中之条町大字中之条町1869-5
TEL 0279-25-8110

ナーシングケア本町通り
なのはな訪問看護ステーション
〒378-0047 沼田市上之町1149
TEL 0278-22-3355

輝城会となごみの杜広報誌『輝城会広報誌』では、皆様からのご意見やご感想をお待ちしています。

お名前などの個人情報は、一切掲載いたしません。匿名でご投稿いただいても結構です。
また、診療に関する個人的な質問やご意見はこちらでは受け付けておりませんのでご了承ください。

- ・はがきなどの場合 〒378-0014 群馬県沼田市栄町8番地 輝城会グループ 広報
- ・電子メールの場合 public-relations@kijokai.or.jp



<https://kijokai.or.jp/>